



# 町政だより

## 理想的な住宅地の建設を

### 町長施設方針

地方自治の理念に基づき広く生活環境のなお一層の整備向上を

計り、もって等しく町民の福祉の増進に専念する所存です。私の施政の基本方針は、理想的な住宅地の建設にあります。そのため、住宅地に必要な公共施設の長期総合計画に基づき充実

昭和四十五年当初予算の編成に当たり、町民の皆さんに今後の町政の方策、また将来に対する方針を申し述べたいと存じます。

これまで、春日町は福岡都市圏の発展を受け、文字通り日進月歩の進展を遂げてきましたが、今やこれを母体として福岡都市圏の発展状況に意を配り、同時に町独自の「町づくり」にとりかかるべき重要な時期に至っていると考えます。

広く我々に眼を転じても科学技術は言うにおよばず教育、文化、学術などあらゆる分野において、現実からの脱却を余儀なくされる時代であります。かかる観点から町民の行政に対する期待、希望、地方公共団体の本来の責務を第一義に採りあげ、



町長施設演説

福岡県筑紫郡  
発行所 春日町  
電話 01131番  
印刷所 福岡印刷株式会社

※ 住宅基盤の整備  
※ 社会経済の進展に即応した諸業の推進

以上の三点を重要施策の方向として今後の行政運営に織り込み、執行を担当していく所存です。

第一点の公共施設の長期総合計画に基づき充実、行政区域全般にわたる全町の総合的視野から、また町の未来図の観点に立脚して道路、公園、学校などの公共施設を媒介とした立体的計画発展を行なうべきと考えます。

第二点の住宅基盤の整備については、全町市街化を前提とした基本構想に基づき総合的、多角的な視野から推進する必要があると考えます。

第三点の社会経済状況の進展に対応した諸業の推進は、柔軟な行政運営をモットーとして漸次行政の近代化改革を行ないたいと考えます。

小学校の屋内  
運動場建設へ

## 福岡市から合併申し入れ

五月二日福岡市武田助役から口頭で福岡市と合併してほしいとの申し入れがあった。

(義務教育)

町南部の開発による人口増加の状況から判断して第六番目の小学校は昭和四十八年四月開校が必要であろうと考えられます。従って、少なくとも四十六年度までには用地を確保し、四十七年度には建築する予定です。学校規模も概ね春日原、春日西小学校程度のもを必要とします。

春日西小学校は、本年四月開校の運びとなりましたが、四十五年度には屋内運動場を建設し、四十六年度にプールを築造して早急に他四小学校との均等を図る所存です。

狭小である春日東小学校の調査改善については防衛分団金による屋内運動場への改善を、もつか関係機関に調整段階中です。

学校運営については引き続き税外負担の軽減、読書環境の向上、整備を主眼として教育効果の充実に費したいと考えています。

町営保育所の増設

(福祉行政)

保育児童の増設については保育所整備五カ年計画に基づき少なくとも昭和四十七年度までに六保育所を増設し、町民による運営を基本として検討し、児童を現在の約五倍に増加したいと考えています。

**総合体育施設の建設へ**

（社会教育）  
スポーツ施設の建設については総合体育施設として調整立案しております。基本的には先ず町民が自由に使用でき、制限使用の規制などはできるかぎり除去し、設置目的である町民の健康増進およびその保持に最重点を置いた施設としたいと考えています。従ってその運用についてもスポーツのためのスポーツではなく、日常の市井の生活、いわゆる町民個々の仕事のためのスポーツ施設としての運用に重点を置くべきであると考えています。

**常設消防署の設置**

（消防）  
昭和四十五年四月一日をもって消防組織法に基づく指定指定町村に指定されましたので、こ

れを機に消防署を設置し、町民の身体および財産の保護に資したいと考えています。

この計画については消防力の発率的増強、財政力、立地条件など多面的検討を加え、隣接大野町との組合立により満足したいと考えております。設立に要する費用はおおむね二分の一とし、現在最良的な「つめ」を事務段階において精査していますが、消防活動は早く今年度の冬、遅くとも明年明けにはと

**行政の近代化を**

（内部整理）  
行政が経済に遅れをとる要因が高度化する社会情勢に対応できないう行政のマンネリ化であると考えています。かかる意味から柔軟な行政運営をモットーとして漸次行政の近代化をはかりたいと考えています。社会経済は我々が予測するよりはるかに早い速度で進展しているため、この観点

から行政効果が比較的高くないと考えられる財政投入、又は行政効果が広く町民に浸透し得ない事項の整理を行ない、発見的に検討したいと考えています。

**土地基金制度設置**

（その他）  
公共用地の整備、拡充という観点から、まず用地の確保、さらに財源の抽出に検討を加え、昭和四十五年度から土地基金制度を設置したいと考えています。公共用地の先行取得は地価の高騰という社会的要因に加え、地方公共団体の税源は漸に減少の方向にあるため、ますます取得が困難となることを予測される現状に鑑み、その財源として基金を設置しようとするもので、これにより将来の財政負担を軽減せしめ、公共施設の計画的実施を内情に満たない所存です。

以上、私の強政の一端を町民の皆さんに述べ、了承、協力をお願いいたします。

**昭和四十五年度の予算決まる**

七億八千九百九十八万一千円の一一般会計予算

昭和四十五年度の本町一般会計予算規模は、前年度の約五億七千万円を上回る約七億九千万円となりました。このうち投資的経費（通常の義務的経費を

除いた建設にあてうる建設経費）は別表一が示すとおり三億六千六百七十七万一千円で、純出の約四十六％を占め近年にない知力的な財政構造となっております。

歳出入算のうちで目的別に占める割合の最も高いのは依然として教育費です。教育費は、人口の増加が最も感嘆に反映する費用で、ことしも小中学校の増築は、人口増加に対処して進捗するものです。このような事情から教育費の占める割合は全体の二十九、四％を占める二億三千二百万円となっております。つづいては舗装工事をはじめ道路の新設改良、堤防工事など道路整備また住宅（公営住宅）建設がある土木費の二十三、一％が占まっています。このほか主たるところでは庁舎の維持管理や人件費を含む経費が一、二、三％となつています。民生費、衛生費はそれぞれ九、九％、七、七％と前年比では、若干の伸びを示しました。またことしから土地基金を設置したことにより諸支出金を

が大半に伸び全体の七割に達し、前年比で約五千五百万円を予算計上しています。土地基金は、人口過密現象がもたらす地価の高騰に備え土地の現物を準備する制度ですがその目的は公共施設用地の効率的取得にあります。

ことしからあらたに行政サービスを進めることになったのも昨年来、建設にとりかかっていた春日原、岡本両保育所の保育業務です。既に保育サービスは始めておりますが町立保育所の設置は、本町では初の試みです。

別表一

区分	昭和45年度	昭和44年度	増減	増減率
1. 公共土木費	85,908	47,337	38,571	81.5%
道路新設改良	32,732	15,856	16,876	106.5%
道路一般	25,337	13,100	12,237	93.4%
一級河川	14,567	8,966	5,601	63.6%
二級河川	3,343	1,917	1,426	74.4%
堤防	8,784	2,899	5,885	66.8%
2. 教育費	218,336	99,187	119,149	120.1%
小中学校	198,396	97,733	100,663	102.9%
小中学校	42,667	4,135	38,532	930.0%
社会教育	4,739	2,698	2,041	75.7%
社会教育	26,190	0	26,190	-
3. 民生費	21,738	28,978	-7,240	-25.0%
民生費	18,597	25,978	-7,381	-28.4%
民生費	2,647	3,003	-356	-11.8%
4. 衛生費	71,305	8,191	63,114	770.6%
5. 経費	16,514	19,131	-2,617	-13.7%
経費	4,286	4,286	0	0.0%
経費	716	716	0	0.0%
経費	5,514	3,165	2,349	74.2%
6. その他	1,686	940	746	79.3%
計	368,777	189,968	178,809	94.1%

が大半に伸び全体の七割に達し、前年比で約五千五百万円を予算計上しています。土地基金は、人口過密現象がもたらす地価の高騰に備え土地の現物を準備する制度ですがその目的は公共施設用地の効率的取得にあります。

れにより従来行っていないが、  
急激な増加が見られ、事故に備え  
ることができるようになりま  
す。

組織は、お隣りの大野町との  
共同出資による春日大野組合立  
によることとなります。

つぎに歳入についてふれてみ  
ます。ここ数年政府の基本方針  
である減税が本年度も施行され  
たのですが、地方税についても同  
様に減税は鈍化の傾向をつづけ  
ています。

一昨年の二十数パーセントの  
伸びから昨年の十九パーセント  
さらに四十五年度見込みでは、  
十二パーセント止りが予測され  
るに過ぎません。この現状から  
最近、地方税源の再検討が関係

### 昭和四十五年度 水道事業の計画概要

#### 一、施設整備計画

本町の水道事業は、急激に増  
加する給水人口に対応して、水  
道施設の拡張を迫られていま  
す。

このため、本町としては昭和  
四十六年度から五ヶ年計画で第  
三次拡張工事を予定しておりま  
す。本年度はこの拡張工事のた  
めの調査と、水交渉を含めて

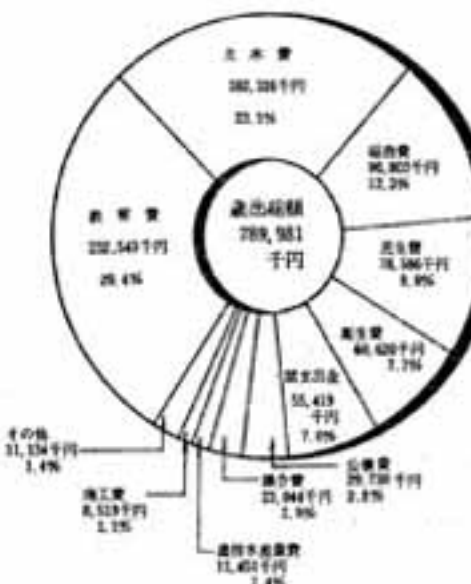
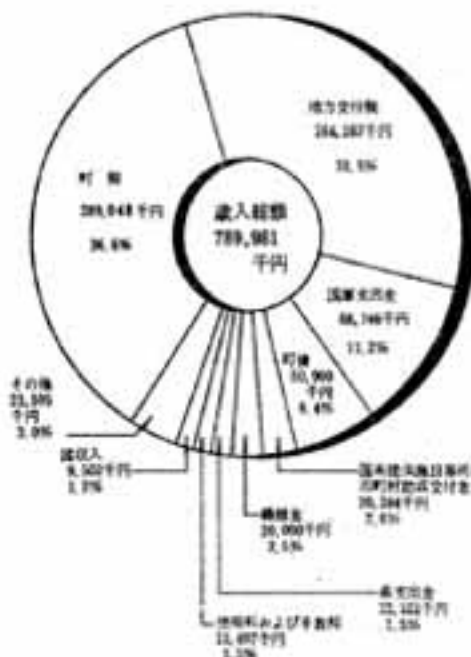
者の間で論議されているわけ  
ですが、この傾向はまだまだつづ  
きそうです。生活環境全般にわ

たる高度化に対処すべき地方団  
体の税源(固有税源)が減少す  
ることは、それだけでなく立ち

遅れているといわれる社会資本  
が、ますます進むことになり  
はしないかと危惧(きぐ)され

るわけです。

一般会計歳入歳出予算



事業計画変更認可申請のための  
諸作業を計画し、二百七十万円  
の予算を計上、現在作業を進め  
ております。

また建設事業としては、本年  
度二千五百五十万円を措置し、  
高層住宅地区における水圧調整  
のための配水管埋設や、新たに  
造成される団地などの配水管埋  
設を重点に計画し、逐次実施に

移しております。  
二、経営面における改善計画  
急速に増加する給水量に比例  
して営業面における諸作業も年  
々増加の一途をたどっておりま  
すが、これらの作業を円滑に処  
理するためには、高度な事務機  
の導入や、人員の整備が必要で  
あります。

しかし昨今の人件費の高騰を  
考えますと、いたずらに人員を  
増加することは、給水コストを  
高くし、企業の経営を苦しくす  
ることになります。  
しかし営業面における費用寄

えのサービスも決しておろそか  
にできませんので、給水コストを  
抑えながら必要最少限の人員配  
置を考えなければなりません。  
そこで水道事業としては、職  
員の新規採用を極力おさえて業  
務を円滑に遂行するため、昨年  
度から更に高度の電子計算機を  
他の行政部門と共同で導入し料  
金の賦課業務を中心に種々の計  
算業務を行なわせております。

また燃料および料金の徴収事  
務に係る人件費を軽減するため  
比較的効率の高い委託制に全額  
的に切替え更に、給水工事指定

業者を増強するなど業務の改善  
をはかっております。  
三、前年度予算との比較  
給水需要に対処して稼働され  
る施設の維持管理のための経費  
や、営業業務に要する経費は、  
諸物価の高騰や、給水量の増加  
などにより営業費用において前  
年度の十七・二パーセント増  
(別表参照)となっており、こ  
れに対する営業収益も給水量の  
増加に伴い前年度比十八パーセ  
ントの増加を感ずるんでおりま  
す。

しかし拡張整備される施設の

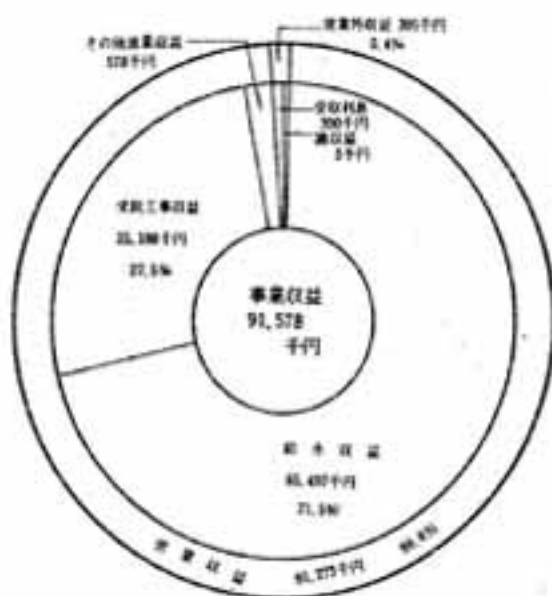
建設資金に充当する借入金の利息や、延滞償却費は経事業費の四十一パーセント(別図参照)を占め、これが年々増加し給水原価は販売価格を大幅に上回っているために本年度末においては数百万円の赤字が予想されます。

これは関係に対処して行なう建設改良に要する借入金の増加や諸物価の高騰による業務関係経費の増加にもかかわらず、料金は前次当初(昭和三十七年)からの増徴で、この赤字解消には企業内部の合理化による経費の削減など企業努力によってもなお不足する分については受益者負担の原則にもとづき料金のアップによって補てんしなければならぬと考えられます。

現在ではこの赤字補てんと建設改良借入金の償還を補てんのため一般会計から年間一千数百万円の出資を受けて経営を行っており、これは企業本家の姿(独立法体)ではありません。



昭和45年度収益的収入分佈図



昭和45年度収益的支出分佈図

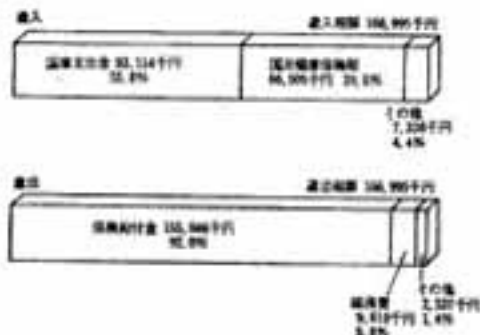


### 昭和四十五年度 国民健康保険特別会計の計画概要

国民健康保険事業運営は保険税と国庫支出金によって収支の運営を遂行しており、過去数年の医療費の増大をみましても、診療内容の高度化、被保険者の増加、受益率の上昇などにより、年々医療費は増大の一途をたどり、昭和四十五年度も医療費増大により、医療費増

計画は二位二千二百二十四万六千円となり、被保険者負担額も一位五千三百七十一万三千円と増大され、被保険者一人当たり医療給付費(町負担)は一万六千九百五十三円となる見込みです。

増上げを必要とし、保険給付額は六千八百五十万四千円で被保険者一人当たり七千七百六十四円となります。





# 昭和四十五年度

## 学校教育施策について

春日町は社会経済の伸長の中で、福岡都市圏の一環としての地理的諸条件を加味しながら、地方自治の理念に基づき、あらゆる分野に革新、脱皮を続けていく中で、教育行政はその基本精神に則り、かつ社会の要請にそつた民王的で文化的な郷土建設と、希求される人間育成をめざして推進されています。町政の基本方針に従い編成された予算を背景として、次の学校教育施策を展開し本町教育の展開を図るものです。

- (一) 学校教育の充実
  - ① 社会文化の急激な発展に伴い教育内容あるいは教育方法などについて教職員の間識が深まるところであり、春日町教育研究会その他による研究をすすめて教育水準の向上を図る。
  - (二) 保健安全教育の強化
    - ① 食生活の向上に際し学校栄養士の指導による給食内容の充実、その他栄養、衛生管理の強化を図り、さらに中学校における完全給食の研究をすすめて、学校給食の充実に努める。
    - ② 混乱する道路交通事情のなかで、事故防止を図るため、通
- ② 学道路に必要な交通安全施設の設置を促進するとともに、交通安全教育の強化徹底を期する。
- (三) 学校用地の確保
  - ① 年々、児童および生徒の増加により学校の施設が必然的に要求されるので、春日東小学校の分離である、第六小学校用地を買収し、さらに春日北小学校の分離である第七小学校用地および第三中学校用地の先行取得を促進し、学校用地の確保を期する。
- (四) 学校施設設備の整備充実
  - ① 学級数の増加による不足教室の充実を図るため、春日東小学校に普通教室三教室、附設、および春日中学校に普通教室二教室、理科室、美術室、準備室、教材室、便所、階段、遊廊下を増築し、新設の春日西小学校に体育館を新築整備する。
  - ② 学校施設整備の年次計画に基づき、春日東中学校の第一棟および第二棟の便所を水洗式に改装するとともに、春日中学校プールの補修工事、教室照明設備、関係便所、事務焼却炉、放送設備、その他の工事を緊急度に応じて実行し、施設又は環境

の整備充実を図る。

- ③ 学校保全のための外構、門扉を年次により整備するとともに、学校警備を警備保障会社に委託し、学校の保全管理の適正化に努める。

- ④ 学校備品の購入については新設の春日西小学校を重点とし教材、図書備品については、基準に基づき購入する。庁用備品については、必要に応じて、それぞれ学校間の均衡を保つよう早期に整備充実を図る。

## 春日校区に保育所新設

母親が働かなければならない家庭、或いは自身のため健全な家庭保育ができない家庭のため、春日町では、四十四年度二ヶ所の、私立保育所をゆずりうけ、春日原と園本に新築し、今年三月末完成、四月一日から定員を増加して、町立保育所として発足したが、人口の増加などにより、入所希望に応じきれず、住民の方に迷惑をかけたため、昭和四十六年四月議所を目標に、現在、建設予定地の界町地区、旧春日町議事堂ならびに中央公民館跡の私下げを、

日本放送協会へ申請しており、下げが終了次第着工します。建物は、本年三月に完成した園本、春日原保育所と同様、早家建、亜鉛引鉄板瓦葺葺、暖房はパネルヒーティング方式を採用、近代的設備を備えた保育所とし、定員九〇名で発足する予定です。

## 公営住宅建設決まる!

### 筑紫荘跡に四十戸

現在春日町には公営住宅として、引揚若住宅二戸、改良住宅が六十四戸あります。これは改良住宅という性格から、すべて入居についての制限がありませんが、昭和四十四年度に、公営住宅並びに保育所建設用地として、大和町一丁目(元筑紫荘跡西側部分)を二千七百二平方メ

一トトル(八七七坪)を、一千二百四十平方メートルから私下げをうけこの用地に、公営住宅特定計画によって、今年度公営一層住宅、鉄筋コンクリート五階建、四十戸を建設することになりました。

昭和四十六年二月頃完成、入居の予定であります。申込み



その他詳細については次の町政だよりで紹介いたします。

6月  
は  
商業統計の  
期間です  
ご協力下さい

# 昭和四十五年度の

## 道路行政について

道路は人間生活や生活活動、基礎整備をなすものであり、

この道路に対する現状は、道路不足、今後のモーターリゼーションの進展からしても、道路の生産的整備は町政のうちでも、比喩をおかねばならないものと恐われます。

国民所得水準の向上、巨大化しつつある自動車産業の供給力、生活環境の変化が、自動車を生活必需品化しつつあり、自動車の機動性を求める交通需要は、生活と不可分であり、さらにモーターリゼーションを前に予

期し、長期的な視野の下に、道路行政の基本的施策を確立し、本年度約七・五キロの道路を新設改良し、交通需要に対応する

とともに地域格差を是正、地域開発のためにも道路拡充整備を強力に促進していかなければならぬものと思われます。

道路は為政者だけでできるものではなく、町民皆さんの支役と深い理解があつてこそできるものでありますから、お互の地域社会向上のためにも、道路新設改良事業が円滑に進行できるように協力をお願いします。

## 着々伸びゆく町道舗装

春日町町道の総延長は、昭和四十五年四月現在において、延長百二十六キロ、面積五十九万九千平方メートルです。

町道とは、春日町行政区域内の道路で、町長がその路線を認定したものをいいます。(路線を認定しようとする場合は、町議会の議決を経なければなりません。)

この町道は、性格的には国道や県道のような幹線道路と異なり、有機的に構成された道路網の基盤的役割で、地域住民の社会的、経済的、文化的生活の場を連絡し、日常生活と一体とな

って作用する機能を有し、生活の基盤となる施設です。近年、本町でも激しい都市化の進展、モーターリゼーションの進行により、自動車交通量が増し、この増進した自動車交通に比例し、町道の舗装も進

み昭和四十五年四月現在の舗装率は、延長で十八パーセント面積で二十五％となっています。これに対し、筑紫郡内各町の舗装率は概か四％程度で、本町の舗装進捗率に比較し、きわめて低く立ち遅れているのが実情です。

本町は昭和四十五年度も五千

五百メートルの舗装を計画しています。舗装は風害度の高い路線から順次促進し、昭和五十年には五十パーセント程度の舗装率が予想されます。

舗装の構造も、以前は経済性と路盤支持力を考慮し、現在路盤の上に舗装していましたが、この工法では、道路の構造、効用など、道路機能上好ましくな

いたため、現在では、高くなつた路面を切下げ、側溝大筋に舗装仕上げを合わせ、道路を最大限に利用されるよう施工しております。

## 光町那珂川線(観光道路) 舗装工事進む

この路線の舗装事業は、第五次道路整備五カ年計画(町道)道路整備事業(建設省道路局所管)

の舗装新設事業として、延長千八百メートル、巾員十一メートルの路線指定を受け、昭和四十二年を初年度として着工し、

路線の舗装事業完了予定となっております。

この舗装事業の進捗は昭和四十二年度は事業費二百五十万円、延長百四十メートル、四十三年度は事業費二百五十万円、延長百四十メートル、昨年の昭和四十四年度には、事業費六百五十万円、延長

二百七十メートルの舗装新設を完了しましたが、施行所区間が、全体計画の約三十パーセント程度のため、道路整備五カ年計画の主旨にのっとり、最終年度の昭和四十六年度には指定路線全線の舗装が完了するよう、昭和四十三年度六月、四十四年三月、四十五年二月に再三、建設省に舗装新設事業の補助金増額の陳情をしていますので、本年度は補助金の増額交付が予測され、舗装延長も過年度より伸びるものと期待されます。

また工事実施に当たっては、補助金の交付決定後直ちに着手したいのですが、舗装完了後直ちに掘削されると交通の安全を阻害され、その上、舗装耐用年数が短縮されるので、舗装先行工事として、ケーブル、ガス管、水道管などの埋設後、舗装事業に着手している次第です。この路線舗装土地所有者の方は水道費など舗装前に宅地まで引込を済ましてください。

この路線の舗装事業早期完成に鋭意努力しておりますので、東筑紫郡の方々にはいましては多くの辛抱をお願いします。

## 交通事故相談所 について

交通事故で困っておられる方は相談所を設けておりますのでご利用下さい。

相談日 毎月第二、第四日曜日  
時間 午前十時/午後四時  
場所 春日町役場東支所(春日町光町)  
料 金 無料

### 交通安全対策について

本町は宅地造成などにより、最近急激に人口が増え、それに伴い自家用車の激増と本町が限られた面積に位置する関係上交通量は日々増加し、ことに国道五号線が筑紫野町まで結ばれたことによりなお一層の交通量が増加してきている現状です。

交通安全事故をなくし明るい町を築くことはみんなの願いですが現状は毎年うなぎのぼりに増える一方です。

本町の昭和四十四年中の事故発生件数は百四十七件、死者一名、傷者二百一十一名というおびただしい数字を示しています。

このような現状の中で交通安全事故防止のため、春日町交通安全対策協議会を設立し春日町の区域内における交通安全の保持について関係行政機関および、団体と連絡協議し、適切な措置をはかることを目的とし昭和四十五年四月から発足しました。

今年度の目標としましては、国道五号線および歩道の整備、交通量の多い箇所の防犯灯の設置などを重点に実施いたします。

なお交通安全教育として各小学校および中学校の生徒を対象として正しい交通ルールの実践を習得づけ、また自動車を選ばれる人には交通安全講習会を開催し、交通安全意識の周知徹底を図り、町民総ぐるみで交通安全事故防止に徹して明るい町を築くように努力します。

### 議会報告

昭和四十五年第一回定例会は三月十二日開会し、昭和四十五年予算案ほか三十三件ならびに請願一件について慎重審議の結果、全議案を可決、議場を夜明け、三十一日閉会。

会期中の活動状況  
三月十二日

本会議、議長開会宣言、町長施政方針演説、提出議案の説明、昭和四十四年度補正予算ほか関係議案を委員会附託。

三月十三日、三月十四日、各委員会、附託議案について審議検討。

三月十六日  
本会議、昭和四十四年度補正予算ほか関係議案を可決、昭和四十五年予算ほか残り全議案を委員会附託。

三月十七日、十八日  
各委員会、附託議案について審議検討。

三月十九日  
本会議、買戻並びに一般買戻。

三月二十日、二十六日  
各委員会、附託議案について審議検討。

三月二十七日  
委員長會、各委員会の審議結果を連絡し調整。

三月二十八日  
各委員会、委員長會の結果について審議検討。

三月三十日  
各委員会、委員長會を交互に開き議内調整。

三月三十一日  
本会議、各委員長の審議結果報告について討論表決の結果、全議案を可決し閉会。

提出議案要  
議案第一号 春日町土地基金条例の制定について  
公共用地を先行取得するため基金として、毎年度二千万円以上を積み立て。  
議案第二号 春日町印鑑登録および証明に関する条例の制定について  
印鑑を登録し、印鑑証明の必要な人には登録した印鑑をコピーで交付する。  
議案第三号 春日町畜犬取締り条例の制定について

犬の飼い主の義務を定め、畜犬の管理を適正にする。  
議案第四号 不動産の取得について

スポーツ施設などの公共用地として三万五千七百十平方メートルを取得。  
議案第五号 字の一部区域変更認定について

豊利土地改良事業に伴い字内入の千二百九十の二番地ほか六地等を字豊利に編入。  
議案第六号 春日町公の施設の設置および管理に関する条例の一部改正について

新設された春日駅、岡本、元町の三保養所並びに居住宅供給会社から払い下げを受けた日の出、春日台同様に公の施設として設置。  
議案第七号 春日町通商管理條例の一部改正について

運動用地を従前は、計画調整基金の宅地評価額で買収することになっていたので町内を百三カ所に分けた基準額で買収。  
議案第八号 春日町税条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い昭和四十五年度の固定資産税に限り納期日を変更する。  
議案第九号 春日町特別職の職員で常勤のもの給与などに関する条例の一部改正について

町長、助役、収入役の期末手当の支給率を一般職員と同率に改正。  
議案第十号 特別職職員退職手当支給率の一部改正について  
三校の退職手当の支給割合を福岡県町村職員退職手当組合の支給割合に準じて改正。  
議案第十一号 春日町職員の特別勤務手当に関する条例の一部改正について

伝染病防疫作業従事者、徴税などの徴収事務従事者について改正。  
議案第十二号 春日町使用料条例の廃止について  
岡本居住宅の解体撤去により必要がなくなり廃止。  
議案第十三号 春日町職員定数条例の一部改正について

従事職員二十四名、一般事務職員七名、調理員二名、水道技術職員一名をそれぞれ増員し職員総数を百八十一名に改正。  
議案第十四号 町道の廃止について

怡玄町支線など旧路線、延長二千四百三メートルを廃止。  
議案第十五号 町道の認定について

地蔵子池田線など三路線、延長千八百八十一メートルを町道に認定。  
議案第十六号 専決処分承認を求めることについて

昭和四十四年度一般会計予算の都市計画関係の調査委託費十四万四千円の執行。

議案第十七号 審判を受けることについて

桜ヶ丘区の公民館建設費として四百四十万円を受理

議案第十八号 審判を受けることについて

紅葉ヶ丘区の公民館建設費として百十五万九千円を受理

議案第十九号 春日町税条例の一部改正について

国民健康保険条例の準則にあわせて条文の整理、字句の修正並びに税率を十九・五パーセント引き上げ

議案第二十号 春日町国民健康保険条例の一部改正について

前議案と同じく条文の整理並びに審査費を二千円から四千円に引き上げ

議案第二十一号 審判を受けることについて

日生不動産、東洋興発の両社から建設内の上水道配水管四千四百メートルと附属器具一式を受理

議案第二十二号 昭和四十四年度一般会計補正予算について

計数の整理をし、道路舗装工事費七百万円、町民グラウンド用地購入費追加七百万円など総額千四百七十万円の追加で、これに充てられる財源は起債、道路拡さくによる路側復旧費、町税自動車取得税交付金等

議案第二十三号 昭和四十四年度国民健康保険事業特別会計補

正予算について

療養給付費二百五十一万七千円の減による国庫支出金の減額が主

議案第二十四号 昭和四十四年度水道事業会計補正予算について

主な予算内容は起債借付利息四百八万円の減、配水管工事費九百三十万円の減、給水料金二百七十四万八千円の増進等

議案第二十五号 昭和四十五年一般会計予算について

予算説明参照

議案第二十六号 昭和四十五年国民健康保険事業特別会計予算について

予算説明参照

議案第二十七号 昭和四十五年春日町水道事業会計の予算について

予算説明参照

議案第二十八号 春日町国民健康保険事業特別会計の一部改正について

基金の額を八十万円から二百万円に増額

議案第二十九号 昭和四十四年度一般会計補正予算について

都市近郊農地対策事業など、県支出金による十九万九千円の追加

議案第三十号 春日町議会議員報酬並びに費用弁償支給条例の一部改正について

議案手当の支給率を一般職員

と同率にするため、議員報酬を改正

議案第三十一号 市制調査特別委員会の設置並びに同委員会委員の選任について

前特別委員会の調査結果に基づいて更に具体的に調査するため設置

議案第三十二号 新幹線東西基地対策特別委員会の設置並びに同委員会委員の選任について

草創基地が出来ることにより、あるいは地域住民の福祉に対処するため、事前に調査研究し、国庫や県と交渉し対策を講ずるため設置

議案第三十三号 基地対策特別委員会の設置並びに同委員会委員の選任について

防衛基地の所在による民生安定の向上と基地を縮小し、県庁誘致の運動をするため設置

授けられた失対事業就労者の退職金制度確立に関する協議は執行部において適当な措置を講じて載きたいということて執行部に送付

と同等にするため、議員報酬を改正

議案第三十一号 市制調査特別委員会の設置並びに同委員会委員の選任について

前特別委員会の調査結果に基づいて更に具体的に調査するため設置

議案第三十二号 新幹線東西基地対策特別委員会の設置並びに同委員会委員の選任について

草創基地が出来ることにより、あるいは地域住民の福祉に対処するため、事前に調査研究し、国庫や県と交渉し対策を講ずるため設置

—買い物上手—  
 トラの巻 No. 3  
 西日本相互銀行  
 ネームコンサルタント  
 立石 朋

食中毒にご注意

そろそろ食中毒のシーズン。一番多いのは腸炎ビブリオによるもので、これは魚貝、海産物などについているもの。新鮮なさしみでアタるともあるもので、ナマでたべるときは、水道の水でよく洗うこと。魚を料理したマナイタの洗い方がわるくて菌がのこり、きゅうりもみに菌がついて中毒した例もある。マナ板は木よりもプラスチックの方がずっと清けつ。ほうちょうの刃ざわりなども改良した使いやすい品がでているので、新しく買うときはプラスチック製品をおすすめします。

けがなどで化のうしている手でつくった食品の中毒も多い。ブドー球菌によるものでつくられたのおハギでしくじることもある。シュークリーム、アイス



クリームの中毒もあるので、衛生的な感、信用のおけるメーカーのものをえらびましょう。

とくにふたをしなくて売っている「ハダカの食品」にはご注意ください。

ハダカで並べないとお客が買わないからと店の方でいうのもまんざらいいわけではないようです。

ほこりの中のハダカの品や、さたない手での手づかみで売っているのは買わないようにしましょう。ぜひ私たち消費者の手で不けん食品を追放したいものです。

お買物の商品に対しての苦情不備がありましたら、役場経済課内に消費者相談コーナーを設けていますのでご利用ください。